



コミュニティ だより

向東小学校は、平成25年度から「コミュニティ・スクール」の指定を受け、学校運営を進めています。コミュニティ・スクールは「地域とともにある学校づくり」をめざすための有効なツールとしての役割を果たします。ツールということは、目的ではなく、手段だということです。そのために、掲げている5つのミッション・ステートメント（社会的使命）を常に念頭において、教育活動を推進していきます。

今年、指定を受けて3年目の年です。「地域とともにある学校づくり」を一層推進するために、学校と地域が一体となった学校経営を進めて参りますので、どうぞ、よろしくお願い致します。

<向東小学校> ミッションステートメント

- ① 家庭・地域と協働し、児童の豊かな心を育みます。
- ② 家庭・地域と協働し、児童の学力を伸ばします。
- ③ 家庭・地域と協働し、社会で自立できる児童を育成します。
- ④ 文化の発信基地となり、地域の発展に寄与します。
- ⑤ 教職員が日々成長するよう行動します。

夕顔

たね

の



を植えました。



5月8日（金）、1年生が、「夕顔の種」を植える会を開きました。「夕顔が咲く時間になったら、おうちへ帰ろう」という子どもを守る運動の一環として開催されました。今年、緒方さんにお越し頂き、子供達と保護者と一緒に植えました。育った苗は区長会で配布させていただく予定です。向東町内で、「夕顔」の白い花が咲くのを楽しみにしたいと思います。

【児童代表の挨拶】

ちいきのみなさん、きょうは、おいそがしいなか、ゆうがおのうえかたを おしえにきてくださって、ありがとうございました。たいせつにそだてて、むかいひがしを、ゆうがおのはなでいっぱいになりたいとおもいます。

【児童代表の挨拶】

みなさん、ゆうがおのたねを、じょうずにうえることができましたか？ いっしょうけんめい おせわをして きれいなはなを たくさん さかせましょう。





達成感を味わう

今年も尾道港祭には、5年生が参加しました。この「ええじゃん SANSА・がり」には地域の白川さんに指導をして頂きました。熱意溢れる指導で、新しい演出が展開されました。そして、見事「銅賞」を獲得！ 今までの指導について、子供達が白川さんにお礼の手紙を書きましたので、紹介します。

白川先生、ええじゃんを教えて下さってありがとうございました。賞は金賞から銅賞へと変わってしまいましたが、特に、しんさの時には無が夢中でおどりました。おどり一つ一つには意味がこめられていると言ってくくださったので、さらにぼくは、どうすれば良くなるかということをおどっている時に考えられました。

練習のときは笑顔でおどることや、こしを低くすることに悪戦苦闘しましたが、金賞をとるために無が夢中でおどりました。その時、ぼくは必死だったと思います。

ええじゃんが終わって、金賞がとれなかったので、くやしいと思いました。亀竹先生がこの気持ちはわすれないで下さいと言われて、ぼくは、ええじゃんではないけど、次のチャンスに向けてがんばろうと思います。

銅賞になれたのも、白川先生がおどりの「こつ」を一から教えて下さったおかげです。約半年間ありがとうございました。

感謝

白川先生、今までお世話になりました。ええじゃんを教えてくださいましてありがとうございました。私たちは4年生の3学期の時から白川先生にお世話になりました。お忙しい中、私たちのええじゃんにお付き合いしてくれました。そのおかげで、私たちは銅賞をとることができました。目ざしていた金賞にはとどかなかったけれど、賞に入れて良かったです。

ええじゃんとともに、私は色々な事に挑戦していきたいです。ええじゃんがあれだけがんばれたから他の事にもつなげていきたいです。本当に、今までお世話になりました。ありがとうございました。



心を潤す

中央の写真は、MOAの方々毎週月曜日に、行って頂いている「生け花」の様子です。正面玄関前で、各学年の代表の子供達が集まり、ボランティアの方々から、季節のお花についてのお話や、生け花の方法について教えて頂いています。

ここで生けられた花は校舎の様々なところに飾られ、子供達の心を潤してくれています。代表の桑原さんから、直接、教えてもらいながら花を自分で生けるといいう体験をした子供達は、一層の愛着が湧いていると思います。子供達の心を潤す環境づくりとなっています。

